

令和8年度第2回 川西町介護保険運営協議会・
川西町地域包括支援センター運営協議会 会議録

期日：令和8年8月20日（木）

時間：午前10時00分～午前11時48分

場所：川西町役場 会議室北南

出席委員 加藤健吉会長、藤本亜希副会長、村上英樹委員、中村真由美委員、
片山彰浩委員、佐藤千恵美委員、吉永寿美子委員、安部眞委員、
菅野明日香委員、遠藤恵子委員、横山のぶ子委員、登坂美紀子委員、
黒澤恵子委員、齋藤晴美委員

欠席委員 山田昌弘委員、

事務局 鈴木福祉介護課長、岡崎福祉介護課長補佐（介護担当）、皆川介護係長、高橋
介護係長、吉村包括支援係長、村上社会福祉士、孫田健康子育て課長補佐、梅
津税務会計課長補佐、高橋生活支援コーディネーター

《 次 第 》

進行役：岡崎福祉介護課長補佐（介護担当）（以下、岡崎課長補佐）

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. 開会 | 岡崎課長補佐 |
| 2. 会長挨拶 | 加藤会長 |
| 3. 会議録署名委員の指名 | 加藤会長 |
| 会長より、齋藤晴美委員を指名 | |
| 4. 報 告・協 議 | 議長：加藤会長 |
| （1）令和7年度介護保険事業の実績について | 高橋介護係長 |

【質疑及び意見等】

（委員）資料P5～P10の給付実績について、今年度初めて委員になられた方のため
に後ほど内訳がわかるような詳しい資料の提示をお願いしたい。

- （2）第9期川西町介護保険事業計画の進捗状況について（令和8年6月末現在）

高橋介護係長

【質疑及び意見等】

（委員）計画の目標値について、設定した経緯と数値を現計画で定めているわけだが、
今年度から委員になられた方はわからないと思うので、後ほど詳しい資料の提示を
お願いしたい。また、文字の大きさ・色の関係で読みにくいところがあるので工夫
してほしい。

- (3) 令和7年度川西町地域包括支援センター事業実績及び令和8年度事業計画について
吉村包括支援係長・高橋生活支援コーディネーター
質疑及び意見等なし
- (4) 地域密着事業所の指定更新について
高橋介護係長
質疑及び意見等なし
- (5) 第11次川西町高齢者保健福祉計画・第10期川西町介護保険事業計画の骨子案について
高橋介護係長

【質疑及び意見等】

- (委員) 通いの場で自分が動けなくなったときにどうしたらいいのか、またそれをどこに相談したらいいのかわからないといった声をよく聞く。通いの場で聞いたことは町に情報提供できるが、通いの場に参加できていない人の声は聞くことができないのでどうすればいいかが課題と考える。
- (委員) 民生委員や包括支援センターに集まる情報以外で困っている独居高齢者等がいると思うので、通いの場を含め地域のつながりが大事だと感じた。100歳体操や様々なサービスが展開されているようなので町民にわかりやすく周知してほしい。
- (委員) 夫が病気をきっかけに介護が必要になった。これまで介護の話を聞いてはいても実際に介護をすると本当に大変で、もっと勉強したいなと感じた。勉強会等あるといいと思う。
- (委員) 100歳体操やそれに代わる介護予防の事業を各方面から協力いただきながらになるかと思うが、もっと展開できたらいいなと考えるようになった。
- (委員) 山村地域でも100歳体操をはじめとする介護予防に関わるようなたくさんの事業を展開し、活気のある生活を送れたらいいと思う。また、独居になった場合の事を考えて意見を出していきたいと思う。
- (委員) 骨子案の施策の展開に1回目の委員の意見がどこに反映されているのかわかりやすくしてもらえるとよかった。素案の作成時にはさらに踏み込んだ内容になるということだったので意見を反映してもらえようをお願いしたい。
- (委員) 川西の状況に合わせて計画を作っていただきたい。介護の話をいくら聞いていても実際に自分がその状況に立たされないとわからない。興味を持ってもらえるように作ってもらえればと思う。保健・医療・福祉・介護で保健の内容を詳しく入れてもらいたい。
- (委員) 地域の見守りが大切だと感じる。川西町の医療費は高くなっている。医療と介護は密接につながっているので、介護保険料抑えるために医療費をどうおさえるかが課題であると考えます。
- (委員) 高齢者の居場所づくりがかなり進んでいるなと感じた。認知症カフェは認知

症の方だけではなく地域の方どなたでも参加できると認識しており、そのようにしてもらえれば当事者の方の気持ちに寄り添った行動ができるようになるのではないかなと考える。また、子供たちに参加してもらうことで、大人になったときに難しいことを考えなくても認知症の方の気持ちが理解できてより住みやすい街になるのかなと感じた。

(委員)施設の待機者数は多数いる状態。施設入所の希望があってもその時に空きがなければすぐには入れない状態。このような状態だということは、当事者にならないとわからないと思うので、地域の集まりの場があれば発信していきたい。

(委員)サービス提供の面で一番の課題として人材確保があげられる。介護分野だけに限られた話ではなく、難しい問題であると思うが計画に取り入れ、課題解決に取り組めばいいと思う。

(全体総括：岡崎課長補佐)

介護認定受けている方が 1,000 人弱、それ以外の方は地域で元気に暮らしているので生活支援体制の馬力が出てきたように感じる。国からは今後、要介護3未満の認定を受けている方は地域で見守りを受けながら生活することを示唆するようにとわれているので、1回目と今回の協議会でいただいた意見を施策の案に盛り込み、地域の助けあい支えあいを基盤に町民が元気で過ごせるような計画を作っていきたい。

以上、委員会の次第及び協議の内容については、事務局において記載したものであるが、その内容は正確であることを証する。

令和8年8月28日

議 長 加 藤 健 吉

議事録署名委員 齋 藤 晴 美

(原本には署名をいただいております)